



令和4年12月14日

各位

会社名：新都ホールディングス株式会社
 代表者名：代表取締役社長 鄧 明輝
 (コード番号:2776 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 半田 紗弥
 電話 03-5980-7002

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社グループ貿易事業の業績と今後の動向を踏まえ、下記のとおり、令和4年5月10日に公表いたしました令和5年1月期（令和4年2月1日～令和5年1月31日）の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

令和5年1月期通期連結業績予想値の修正（令和4年2月1日～令和5年1月31日）

	売上高	営業利益又は 営業損失（△）	経常利益又は 経常損失（△）	親会社に帰属する 当期純利益又は 親会社に帰属する 当期純損失（△）	1株当たり 当期純利益 又は当期純損失 （△）
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,581	167	96	78	3.03
今回発表予想（B）	4,560	△52	37	15	0.55
増減額（B-A）	△2,021	△219	△59	△63	—
増減率（％）	△30.71	—	△61.50	△80.13	—
（ご参考） 前回実績 （令和5年1月期）	4,769	44	15	64	2.53

2. 修正の理由

当社グループを取り巻く事業環境は、特に中国市場ならびに中国向けの輸出取引において、新型コロナウイルスに対するゼロ・コロナ政策の徹底により、中国の成長鈍化に伴う景気の後退リスクが高まり、需要の減速が顕著に現われるなど消費の低迷が続いております。上海市を中心とした経済の混乱と市場の停滞は、今年6月以降一旦は都市封鎖の解除が見られたことから、強権的行動制限撤廃もしくは緩和により景気回復の兆しに期待を持っておりました。しかしながら、8月下旬以降、徐々に北京市、重慶市、成都市といった大都市を含むロックダウンが再燃する事態が生じましたが、このロックダウンは、9月中旬の段階ではまだ当社の下半期業績に重大な影響を及ぼす異常事態に至るとの判断には至らず、この時点での業績の修正は不要であると判断いたしました。

ところが、9月下旬以降10月下旬に至るまで、延べ50を超える都市の全部または一部を対象とするロックダウンがさらに反復・拡大するに及び、その経済的影響は今日に至っても完全に回復はなされていない状態が続いております。

このような状況の下、当社グループの主力となるプラスチックおよび金属事業におきましても、流通市場の後退や輸出の鈍化を余儀なくされており、期初に予定した売上の達成が困難な状況に陥っております。またロシアとウクライナ紛争長期化に伴い、プラスチック原材料の調達コスト高騰が生じたために、当初予定した良質かつ安価な調達量の確保が儘ならず、この結果、生産計画に大幅な影響が出たことから売上額が予想を下回る見込みであります。以上のような現在状況ならびに第4四半期期末に向けた経済・市場動向を総合的に判断した結果、今般、通期業績予想の修正を行うものであります。

さらに、期初の想定よりも為替が円安に推移した影響により、令和4年5月10日に公表いたしました令和5年1月期（令和4年2月1日～令和5年1月31日）の連結業績予想につきましては、上記のとおり修正いたします。

なお、令和4年11月1日～令和5年1月31日までの期間における想定為替レートは、1米ドル140円、1中国元20円を使用しております。

※本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上